

【記入例】

特別徴収税額の納期の特例に関する申請書

提出する日を記入してください。

開始希望月を記載してください。

① 宛先) 高松市長 29年 4月 1日 提出	② 申請者 (特別徴収義務者)	住所又は所在地	高松市〇〇町〇丁目〇〇番〇号 (電話 012-345-6789)	③ 承認を受けるようとする事務所	所在地 事務所の名称及び責任者氏名	④ 特別徴収義務者指定番号	0900000100
		氏名又は法人の名称及び代表者氏名	〇〇株式会社 代表取締役 △△ △△			(電話)	
		法人番号	9123456789012				

②欄に記載された事業所と同じ事業所である場合には記入不要です。

第32条第2項(同条例第36条の7の2において準用する場合を含む。)に規定する特別徴収税額の納期の特例の適用を受けたいの旨を申請書に記載し、第32条第3項の規定により承認の申請をします。

⑤ 特例の適用を受けようとする税額	29年6月以降に支払う給与又は退職手当等について徴収する特別徴収税額					
⑥ 申請日の属する月前6か月間の各月末の給与の支払を受ける者の人員及び各月の支払金額 (()内は、臨時勤務者に係るもの)	29年3月	(1 人) 3 人	(77,000円) 654,300円	28年12月	(1 人) 3 人	(76,000円) 654,300円
	29年2月	(1 人) 3 人	(77,000円) 654,300円	28年11月	(1 人) 3 人	(76,000円) 654,300円
	29年1月	(1 人) 3 人	(77,000円) 654,300円	28年10月	(1 人) 3 人	(76,000円) 654,300円
⑦ 高松市徴収金の滞納又は納付・納入の著しい遅延の事実及びその理由	滞納又は納入の著しい遅延がなければ、記入不要です。					⑧ 納期の特例に関する承認を取り消された年月日 年 月 日

処理欄	処理区分	
	承認却下	

【 申請書の書き方について 】

- (1) 「①」欄には、提出年月日を記入してください。
- (2) 「②」欄には、申請者が個人である場合はその住所及び氏名を、法人である場合には本店又は主たる事務所の所在地及び法人名並びに代表者名をそれぞれ記入・押印し、法人番号を記入してください。
- (3) 「③」欄には、承認を受けようとする事務所等が「②」欄に記入されたものと異なる場合についてのみ記入及び押印してください。
- (4) 「④」欄には、高松市から指定されている特別徴収義務者指定番号を記入してください。
- (5) 「⑤」欄には、特例の適用開始を希望する年月を記入してください。
- (6) 「⑥」欄には、申請日前6ヶ月間の、給与の支払を受けた者の各月の人数と、各月の給与支払金額を記入してください。臨時の勤務者があ
る場合は、その人数及び支払金額を（ ）にそれぞれ記入してください。
- (7) 「⑦」欄には、現に高松市の徴収金の滞納、又は最近において著しい納付・納入の遅延がある場合についてのみ、その事実並びにそれがや
むを得ない場合はその理由の詳細を記入してください。
- (8) 「⑧」欄には、申請日前1年以内に、特例について承認を取消されたことがある場合についてのみ、その取消を受けた年月日を記入して
ください。
- (9) 「処理」欄は、高松市が記入しますので、空けておいてください。